

講習科目名	【選択必修】「特別の教科 道徳」の授業づくり実践	実施期日	8月17日
時間数	6時間	講習形態	講義、演習
主な受講対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	受入人数	30人
担当教員	清多 英羽（文学部准教授）：2～4時限目、6時限目（演習、試験担当） 今野 英俊（登米市立浅水小学校 前校長）：1～5時限目（講義、演習担当）		
講習の到達目標 （成績評価の観点）	(1)道徳教育の充実・強化が求められている社会の現状を適切に理解する。 (2)「道徳」の授業実践について基礎から学修しなおし、より実効性のある授業計画のもとで、より実践的な授業を運営し効果的な評価を実施する力が身につく。		
講習の概要	現在わが国の義務教育では、「特別の教科 道徳」（道徳科）を要として、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実が求められている。本講習ではこうした状況に鑑み、道徳科の特質と内容について理解を深めるとともに、道徳科の授業の具体的な構成や進め方、および評価の仕方等について基礎から学ぶ。とくに、学習指導案の作成やそれに基づく模擬授業により、道徳科の実践的な授業力の向上を図る。		
講習計画	1時間目（講義①、80分）：新学習指導要領における道徳科の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・「学習指導要領」および同「解説 道徳編」の改正のポイントについて ・道徳の授業における「主体的で・対話的で・深い学び」について ・「考え議論する道徳」の授業づくりについて ・「問題解決的な学習」について 2時間目（演習①、80分）：「考え議論する道徳」の授業づくり <u>○演習教材名「絵はがきと切手」（B 信頼・友情）</u> <はじめに> 10分 グループづくりと模擬授業の分担について <前半> 35分 模擬授業のための、個人学習シラバスづくり <後半> 35分 グループで学習シラバスづくり 3時間目（演習②、45分）：考え議論する道徳の授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・グループで模擬授業実践のための学習シラバスづくり ・模擬授業の分担 ※ グループでの学習シラバスづくり(80分を予定) 4時間目（演習③、45分）：考え議論する道徳の授業「模擬授業の実践」 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業の実践（考え議論する場面を中心とした模擬授業） ・模擬授業についての話し合い、講評 5時間目（講義②、60分）：「道徳の時間の評価」の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の評価についての考え方について ・通信票、指導要録における具体的な評価について 6時間目（試験、50分）：最終課題試験		

評価方法	指導案および模擬授業からなる「課題作成試験」(70%)、および記述式の「最終論文試験」(30%)の双方から評価する。
教材・参考文献	<p>【教材】すべて印刷して当日配付する。</p> <p>【参考文献】文部科学省「学習指導要領」(平成27年一部改正)および「解説特別の教科道徳編」(平成27年)</p>
受講者に望むこと	平成27年春に一部改正された「学習指導要領」の「第1章 総則」および「第3章 特別の教科 道徳」、ならびに27年7月改訂の「学習指導要領解説 道徳編」について目を通した上で受講してほしい。なお、小・中学校のいずれか一方で結構である。
備考	「課題作成試験」の答案、つまり各班で作成した指導案の原本は、講習終了時に評価用に提出していただく。このため、提出する文書等については、デジタルカメラやスマートフォンのカメラ機能等により、各自適宜記録していただきたい。記録用の機器については、各自適宜準備・持参いただきたい。